

## 2017年度 脳性まひ児療育関係職種対象講習会

本講習会では「脳性まひ児の生活支援 - 多職種によるチームアプローチ -」を主題とし、講義・実技・事例検討を通して、下記にお示しする項目について、それぞれの現場で皆さんが実践できることを目標としております。多領域の受講生と交流を深めつつ、療育現場に役立つよう実体験を多く盛り込んでいることが本講習会の特徴です。ぜひ、ご活用ください。

期 間 : 2017年 8月21日（月）－25日（金） 5日間

会 場 : 大阪発達総合療育センター 5階地域交流ホール

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5-11-21

講 師 : 鈴木 恒彦（ABPIA専任講師、大阪発達総合療育センター センター長、  
リハビリテーション・整形外科医師）

黒澤 淳二（ABPIA専任講師、大阪発達総合療育センター 作業療法士）ほか  
大阪発達総合療育センター理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が講師を務め、  
実技演習・グループワークにはアシスタントが入ります。

主 催 : 大阪発達総合療育センター

内 容 : 「ボバース概念とチームアプローチの重要性」「脳性まひ児の生活障がいとは」  
「子どもの身体の動きを学ぶ」「座位・立位・歩行の援助方法」「目と手の使い方の  
援助方法」「日常生活動作の援助方法（更衣・排泄・書字）」「食べる機能につい  
て学ぶ」「食事の援助方法」「脳性まひ児の学習支援」「環境調整：ポジショニング」  
「保育所・幼稚園・学校との連携」「事例検討」

対 象 : 脳性まひ児の療育に携わる教諭、保育士、看護師、言語聴覚士、歯科衛生士、  
保健師、指導員など（理学療法士、作業療法士、医師を除く）

定 員 : 40名程度（申し込み多数の場合は、選考のうえ決定いたします）

受講料 : 35,000円 \*宿泊費・食費は含まれません。

申込み : E-mailで お申込みください。

宛先『soumuka@osaka-drc.jp』

件名『療育職種申し込み』とし、『氏名、職種、経験年数、所属、連絡先住所・  
電話番号・事例検討での検討希望の有無』をご送信ください。

\*送信後1週間以内に受付完了メールを返信します。ご確認ください。

受講申込締め切り : 平成29年 5月31日（水）

\*受講の可否は6月7日までにご連絡いたします。

\*最終日を除く毎日、受講者ご提供の動画による事例検討会を行います。

事例検討をご希望される方には、日々現場で取り組まれているお子さんの食事・  
排泄・更衣など、生活動作や移動・移乗の場面について、「援助が難しく困ってい  
る場面」「お子さんの普段の様子が見える場面（床上の姿勢や車椅子座位）」にわ  
けて10～15分程度の動画に編集・ご提供していただきます。

貴重な学びの機会になります。事例提供へのご協力よろしくお願いたします。